

令和元年度 第1回 海老名市社会教育委員会会議内容

日時：令和元年6月14日（金）

10:00～12:00

場所：えびなこどもセンター201会議室

【出席者】

委員	井出操、植松慶子、栗山明郎、三部雅世、塩地ひとみ、橋本絵美里、森田壽、山田信江
事務局	伊藤教育長、伊藤部長、萩原次長、高田参事、中込参事、外村課長、押方係長、山田課長補佐、小菌主幹、橋本主任主事

【社会教育委員の役割について】

事務局：社会教育法、海老名市社会教育委員条例、海老名市社会教育委員会会議規則について説明

【議長・副議長の選出】

議長 … 山田委員

副議長 … 橋本委員

【議事】

(1) 令和元年度社会教育関係事業計画について

事務局：学び支援課事業計画、教育総務課文化財係事業計画、文化スポーツ課事業計画について説明

～質疑応答～

委員：えびな盆踊りフェスティバルが秋に実施されるようだが、名称の変更は考えているのか。

事務局：考えてはいない。

委員：学童保育の補助金の予算は昨年度より増えているのか。

事務局：学童を利用している児童が増えており、また学童保育の事業所も増えているため増えている。

委員：車での送迎を行っている事業所もあるようだが、保険等に対しても補助金を出しているのか。

事務局：補助金の使途として保険については謳っていない。補助金以外にも保育料等の収入があるので、そちらで賄っていただいているものと思う。

委員：相模国分寺跡整備事業費がかなり大きい数字となっているが。

事務局：国から8割の補助金が入ることになっている。

(2) 海老名市立図書館令和元年度事業計画について

事務局より説明

～質疑応答～

委員：有馬図書館の改修工事はいつごろを予定しているのか。

事務局：今年度設計を行い、令和2年の夏ごろから改修工事を始める。リニューアル後の開始は令和3年の春を予定している。

委員：工事費はどの程度を見込んでいるのか

事務局：調整中ではあるが、プロポーザルで指定管理から提案された金額は6億程度である。これは図書館とコミュニティセンターを合わせた改修工事費である。

委員：一体管理というのはどういうことか。

事務局：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社と図書館流通センターと相鉄企業の三社でえびな学びコンソーシアムとして中央図書館、有馬図書館、門沢橋コミュニティセンターを一体的に管理していただくことになる。

委員：有馬図書館の駐車場は広くなるのか。

事務局：リニューアルすることで来館者も増えることが見込まれ、駐車場についても検討しているところである。

委員：ワークショップに参加する際に、電話連絡ではなく直接図書館へ行って整理券を入手しなくてはいけないのは何か理由があるのか？

事務局：確認します。

委員：最近、絵本などのリサイクル本が減っているような気がする。

事務局：確認します。

(3) 社会教育計画について

事務局より説明

～質疑応答～

委員：えびなっ子スクールで実施するプログラムは学校が決めているのか。

事務局：学校で決めているため、学校ごとにプログラムは異なる。

委員：少人数でも自分の好きなことができる場所が必要なのではないか。

委員：様々なことにチャレンジして自分に合うものを見つけてほしい。

委員：そういう場があることを子どもや保護者が知らない現状もある。できるだけ選択肢を多く与えて、一人一人子どもの良いところをみんなで見つけてあげられるような環境が必要である。

事務局：多くの団体が色々な取り組みをしていただいている。それらの団体の横のつながりを作る必要がある。

事務局：事務局が示した案についてご意見があれば次回の社会教育委員会議で集約したい。